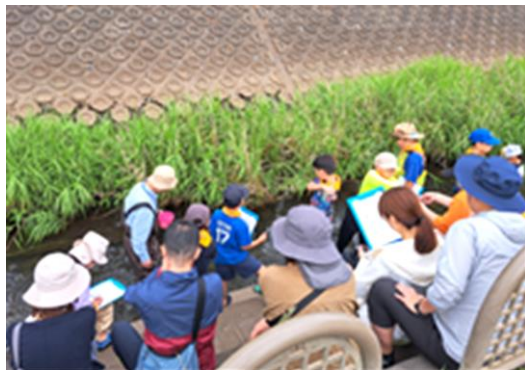


2026 教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ「環境体験教室」		
題名・副題	和泉川・地蔵原の水辺で生き物観察会(親子教室) ～身近な川で生き物観察を体験しよう～		
月日・時間	2026年5月24日(日) 10:00~13:00		
開催場所	横浜市泉区 和泉川・地蔵原		
部会・講師名	水・大気部会 石原靖文	参加数	20組40名 講師数 6名

写真・画像



川の水温やにおいを観察しました



CODの値が例年よりも高かった



どんな、生き物が採取できたかな



採集した生き物と生態系のお話を講師から聞きました

成果解説

この教室は、河川の生態系を学ぶことを目的とし、身近な川を調べ、生き物を採取・観察する体験教室です。当日の天候は曇りのち晴れ、気温26℃と、水辺で活動するには適した気候でした。前日の夜に降雨がありましたが、当日の川の流量はほとんど増加しておらず、小さな子どもたちが川に入って活動しても安全な状態と判断し、予定どおり実施しました。観察会の前半では、水質調査を行いました。参加者を3班に分け、透視度、COD(化学的酸素要求量)、水温、におい、底質の状態、流れの速さなどを調査しました。調査の結果、透視度は1m以上と良好でした。一方、CODは7~8mg/L程度と、これまでの調査結果よりやや高い値を示しました。前日の降雨による影響が考えられます。後半は2班に分かれ、調査区域の上流側と下流側で生き物観察を行いました。参加者はタモ網を使って魚や水生昆虫などを採集しました。魚類ではオイカワ、モツゴ、アブラハヤと思われる個体が確認されました。また、底生生物としてカゲロウ類の幼虫、ナミウズムシ、トンボ類のヤゴ、タイワンシジミ、アメリカザリガニなどが観察されました。今回の観察会では、水質調査と生き物観察を通して、和泉川の環境や生態系について理解を深める機会となりました。今後も継続的に観察会を実施し、地域の河川環境への理解と保全意識の向上につなげていきたいと考えています。